

心の ともしび



暗いと不平を言うよりも
すすんであかりをつけましょう



ふとんは

えいせい！

まつ お
松尾 太神父

あなたが身も心もすべて委ねることのできる相手はだれですか、と尋ねられたら、家族、親、きょうだい、親友、などと答えると思うのですが、思わずふとんが思い浮かんだりするのは、わたしだけででしょうか。考えてみると、ふとんはえらいものです。来る日も来る日も、身も心も疲れてくたいたのわたしたちを休ませ、安らぎを与えてくれるのです。横たわる者の重みを何も言わずに受け止め、せんべいのようになつても働きます。ふとんなしで床に横たわるのは、なかなか難しいものです。夏なら少しひんやりして気持ちいいかもしれません、寒くなつてくると、畳でもそのまま寝ようとは思いません。ちゃんとふとんを敷きます。

ところで、ふとんに身を委ねているとき、つまり、寝ているときというのは、聖書によると、神との語らいのときでもあります。旧約聖書の創世記に登場する少年ヨセフは、よく不思議な夢をみました(参 37章)。

ヨセフは、夢の謎を兄たちや両親に解き明かすのですが、父親から特別にかわいがられていたヨセフは、その夢について語れば語るほど、兄たちの恨みを買い、ついにはなんと奴隷としてエジプトに売られてしまふ、という物語なのですが、すべての出来事のとらえかたとなるのはヨセフたちを救いたいという神の望みが、夢を通してあらわされていたということでした。

その身を横たえ、神にすべてを委ねて夢をみると、ヨセフは神の望みを知り、また、神が自分に委ねておられる使命についてよく知ることになったのです。

手を止めて、あれやこれやの思い煩いを一旦離れて、身も心もふとんに委ねてゆつくり休むときに、大切なことが見えてくることもあるかもしれませんね。



ホームページ (<https://www.tomoshihi.or.jp>)



【ラジオ番組「心のともしび」】 月曜日から土曜日までの毎朝、全国ネットで放送中！

各方面で活躍中の執筆者約30名が、その月のテーマに沿って書き下ろしたお話をナレーターの朗読でお届けする番組です。放送されたお話の中から毎月6篇を選んで機関紙に掲載しています。ぜひ、他の方のお話もお聴きください。パソコンやスマートフォンでラジオが聴けるアプリ「ラジコ」のタイムフリーなら過去1週間以内に放送された番組が無料でお聴きいただけます。 ※パソコンの方は「radiko.jp」にアクセスしてください。

スマートフォンの方はアプリをダウンロードしてください。



放送時間やラジコなどのお問い合わせは、〒604-8006 京都市中京区河原町三条上ル

心のともしび運動YBU本部 (電話:075-211-9341 FAX:075-211-9343) または、ホームページをご覧ください。